

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

平成30年2月27日
北陸信越運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画推進事業)

協議 会名	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果
	①事業の結果概要	協議会における事業の今後の改善点 又は事業の今後の改善点	
駒ヶ根 市地 域公 共交 通協 議会	<p>①事業の結果概要</p> <p>公共交通パンフレットの作成 ・当市の公共交通機関である、こまつ、タクシー、駒ヶ岳ロープウェイ線バス、高速バス、JR飯田線等を網羅したガイドブックを作成し、市内の全世帯(市報折り込み)及び事業者などに配布することで、公共交通の周知及び利用促進を図った。 製作部数14,000部(全戸配布...12,500部、関係機関...1,400部)</p>	<p>②事業実施の 適切性</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>地方運輸局等における事業評価結果の②については自己評価のとおりである。 なお、③の事業の今後の改善点については、毎年の情報更新に加えて、利用促進につながる抜本的な改善策を検討することを期待する。 また、地域公共交通網形成計画に掲げた「公共交通」に対する住民の満足度向上に係る目標達成に向けて、地域一体となって地域公共交通網形成計画に位置づけられた各事業が進められることを期待する。</p>
	<p>こまつ利用者カードの発行 ・平日毎日運行に伴う情報更新をした携帯式利用者カードを製作し(計1,700枚)、登録者全員へ配布した。(エリア別配布枚数) ア...320枚 イ...160枚 ウ...220枚 エ...450名 オ...550枚</p>	<p>③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種公共交通の運行時間等、毎年の情報更新が必要な項目を反映した改訂版の発行と配布を継続するための予算確保が課題。 ・実利用者数を増加させる取り組み、広報活動や利用者ニーズに即した運行内容に改善する等の取り組みが必要。 ・運行時間や停留所等の運行情報が更新された際のカード更新と配布を定期的に実施する必要がある。 	

協議 会名	協議会における事業評価結果 概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果
		協議会における事業評価結果 概要	協議会における事業評価結果 概要	
駒ヶ根 市地 域公 共交 通協 議会	<p>①事業の結果概要</p> <p>こまタクフォローアップ調査 ・平成25年のこまタク運行開始後、最も大きな運行体系見直しを行なって拡大した平日毎日運行の状況に繋げる。 ①こまタク利用登録者(約900世帯)へのアンケート調査 ②集計の分析 ③評価検証</p>	<p>②事業実施の 適切性</p> <p>こまタク平日毎日運行後、1年経過したことを受け、平成30年1月下旬から3月上旬にかけて、調査票の発送から集計・分析を実施する。</p>	<p>③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点</p> <p>・全登録者(1,300名程度)を対象にした大規模な調査を継続して実施する予算確保が課題。</p>	<p>評価結果</p> <p>協議会における事業評価結果の②については自己評価のとおりである。 なお、地域公共交通網形成計画に掲げる目標の達成に向けて、③の事業の今後の改善点を具体化するとともに、地域一体となって地域公共交通網形成計画に位置付けられた各事業が進められることを期待する。</p>
	<p>公共交通及び高齢者の運転を考えるフォーラムの開催 ・市高齢者クラブなどと連携して、公共交通に対する意識の向上及び免許返納促進のための意識啓発を図るフォーラムを開催する。</p>	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施される予定(平成30年1月19日実施)。</p>	<p>・フォーラム開催で共催・後援を依頼した関係団体との継続した協力関係維持と連携事業の企画が必要。</p>	<p>協議会における事業評価結果の②については自己評価のとおりである。 なお、③の事業の今後の改善点については、関係団体との連携の観点から具体化するとともに、地域一体となって地域公共交通網形成計画に位置付けられた各事業が進められることを期待する。</p>